

「からまつ」のようにきびしい自然に耐え、どっしりと大地に根をおろし、すくすくと育つ西春別小学校の子ども



別海町立西春別小学校 学校だより

からまつ No. 4

令和4年6月30日発行 校長 太田 等

学校の教育目標

知 よく考え表現する子

徳 心豊かで思いやりのある子

体 進んでやりぬくたくましい子

「歓び」と「自信」の花を咲かせましょう！

太田 等

最後の方では暑さが増してきたものの肌寒い日が長く続いた6月。中旬からは遊具が使用できるようになり、子ども達は、気持ちよさそうにブランコをこぐなど、楽しそうに休み時間などを過ごしていました。また、届けられたマリーゴールドなどの花を各学年が、配置のデザインを工夫し、華やかな学級花壇を完成させていました。これからは、各学年で気持ちを込めて、しっかり花を育てていくこととなります。

本日は5. 6年生が1泊2日の修学旅行に元気よく出発しました。行く先々で多くを学ぶとともに、クラスメートとの触れ合いを楽しんできてもらいたいと思います。

さて、今月の全校朝会（14日）では、概ね次をお話ししました。

4月の全校朝会で「自分の花をたくさん咲かせてください！」というお話しをしてから今日で約2か月が経ちました。皆さんはこの間、「西春別学びレポート」で花丸をもらったり、鉛筆を正しくもってきれいに字が書けるようになったり、終了のチャイムがなくても、終わるまで取り組んだり、たくさんのがんばりの笑顔の花を咲かせていました。

「自分が成長する時」というのは、「自分なんかムリ～」「むずかしい～」と思った時です。しかし、こうした時に「今がチャンス！」と気持ちを切り変えて、一歩前に進むと、自分の自信につながります。「花」は、自分で勝ち取った歓びと自信の別の名前です。

さて、皆さんに問題です。「どうして学校で文字や文章を書く学習をするのでしょうか？」（「書かないと名前が分からないから」等の答えが返ってきました。全て正解です）

文字があるから名前があり、名前で相手と呼ぶことができます。文字はとても便利だし、無ければとても困るものです。これらは、他の動物にはできないことです。

文字を書くのは、「頭をよく使えるようにするため」「考える力」をつけるためです。

文字で伝えるということは、「何を」「どの順番で」「どの言葉を使って」、さらに、相手にきちんと伝わるかどうかを確かめるために読み返さなければならない「とても骨の折れる」作業です。しかし、この面倒なことを「おもしろい！」「楽しい！」と思える人は素晴らしいです。

皆さんは山登りをしたことがありますか？（多くの児童が挙手）「書く」というのは、山登りと同じです。書き始めの時は、何をどう書くか悩みます。ですが、書き上げた時には、何とも言えない達成感と爽快感が広がります。苦勞して辿り着いた頂上を制覇した時と同じです。

1学期の終業式まで後1ヶ月と少しです。これからもたくさんの自分の山を乗り越えて、自分の歓びの花、自信の花を咲かせてください。

明日から7月です。1学期のまとめに入ります。子どもたちが「何を学び、何ができるようになったか」を振り返り、次への自信へつなげることができるよう、これからも全職員で支援して行きます。